

奈良市 みらい価値共創 プロジェクト研究 第3期

2025年6月開講 募集要項

参加対象

- ・ 多様な主体との共創を実践しながら奈良市の地域課題を解決する新規の事業構想を作成する経験を通じて、新事業を担う人材の育成を考えている企業の方
- ・ 自社の経営資源や自身の技術を活用して、奈良市の経済活性化の推進に資する新事業の創出を目指す企業等の方
- ・ 共創を通じて新分野展開や、新たな収益の仕組みづくりを検討している企業等の方
- ・ 地域に貢献したいと考えている学生等

本プログラムは、大和ハウス工業株式会社から奈良市への企業版ふるさと納税を財源として開催されます。企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)とは、地方自治体による地方創生事業に対して、民間企業からの寄附を活用する制度です。



奈良市
Old History,
New Discovery.



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

奈良市みらい価値共創プロジェクト研究<第3期>



進行する少子高齢化や人口減少、悪化する財政事情や多様化する地域課題等、地方自治体を取り巻く環境は厳しくなっており、単独で地域課題を解決することがますます困難になっていることから、企業をはじめ、大学や地域等との連携が求められているところです。

一方で、企業においても減少する労働人口、激化する国際競争のほか、重要度が増すSDGs、デジタル技術の革新等により環境が大きく変動しており、今後企業を持続可能とするためには、現状の延長としての将来以外の選択肢を確保することが重要となっております。

中でも、これまで企業が事業の対象としていなかった地域課題の解決は、大変有望な分野と考えています。

しかしながら、地域課題の解決は単なる新規事業にとどまらず、これまでなかった知見や行政、地域住民等多様な主体との連携が求められており、企業にとってもハードルが高いと感じられているところです。

そこで、本市では大阪・関西万博が開催されるまでの3年間、「奈良市みらい価値共創プロジェクト研究」を実施し、企業の中堅人材を主な対象として、共創を実践しつつ、地域課題を解決する事業の構想能力を持つ人材の育成に取り組むこととしました。

特色

- ・事業のフィールドとして奈良市を提供し、地域への理解を深める支援をすることで、より実践的な事業構想立案につなげます。
- ・受講生は多様なバックグラウンドから選定するとともに、共創を誘発する仕掛けを講義に取り入れます。
- ・事業構想修士号を授ける資格を有する事業構想大学院大学が、カリキュラムのエッセンスを講義します。
- ・一流の講師陣が最先端分野の知見を教授するとともに、必要に応じて1対1で相談や指導も行います。

目指す効果

- ・社会変化を洞察し、新たな顧客価値を創造することができる、既成概念から脱却した事業構想を構築できる人材を育てます。

なお、研究会終了後も、奈良市共創チームに加入していただくことで、継続的な産官学の共創につなげます。

奈良市みらい価値共創プロジェクト研究＜第3期＞

新事業の開発を行う研究会

本研究会は、事業構想大学院の事業構想修士課程におけるカリキュラムのエッセンスを活かし、多様なテーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う研究会です。

主担当教員/監修担当教員と20人の研究員

研究会は、原則20人の研究員で構成されます。2人の担当教員が本研究期間を通してコーディネートとファシリテーションを行い、研究員の知見を高めながら推進していきます。

8か月間で20回開催

定例の研究会は、8か月間で20回開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新事業創出を支援していきます。

研究員の資格を付与

プロジェクト参加者は、本学の事業構想研究所 研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。研究員は日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。

奈良市長メッセージ



奈良市長 仲川げん

奈良市では、2025年の大阪・関西万博のテーマのひとつである「未来社会を『共創』」するための取組を進めています。変化する時代に適応し、持続可能な発展をしていくには、多様な主体との共創により地域課題を解決する新事業の創出、それらを担う中核人材の育成が不可欠と考えます。

そのため、奈良市では大和ハウス工業株式会社のご支援のもと、2023年より事業構想大学院大学と連携し、大阪・関西万博が開催される2025年までの3か年にわたる人材育成プログラム「奈良市みらい価値共創プロジェクト研究」を実施しています。

いよいよ今年は大阪・関西万博の開催年であるため、奈良市としてもこれまで以上に共創に関する取組を推進します。これまでの修了生には自社の経営資源を活用して新規事業を立ち上げた方、修了生同士でコラボレーションした事業を立ち上げた方、国の省庁などの公的な機関から表彰や支援を受けて事業構想をより明確な形にしつつある方など、さまざまな分野で活躍されています。

ご好評をいただいているこの人材育成プログラムにつきまして3期生を募集いたします。私たちとともに未来社会を共創しようとする熱意のある方のご応募をお待ちしています。



奈良市
Old History,
New Discovery.

プロジェクト研究 全体概要

本プロジェクトのカリキュラムには、事業構想サイクルのうち、発・着・想、構想案、シミュレーション、リサーチ、計画、投資側とのコミットメントなどが含まれます。これらの研究をしながら、研究員(参加者)は「事業構想計画書」を策定していきます。研究員の皆様と、事業構想ノウハウを持った教授陣・研究の第一人者をゲスト講師として招聘し、三位一体となってプロジェクトを8か月執り行います。

01 イノベーションを体系化した唯一のプログラム

新事業の開発を目的とした日本で唯一の大学、事業構想大学院大学の教授陣が、イノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。

02 経営資源を活かし、実践的な事業を構想

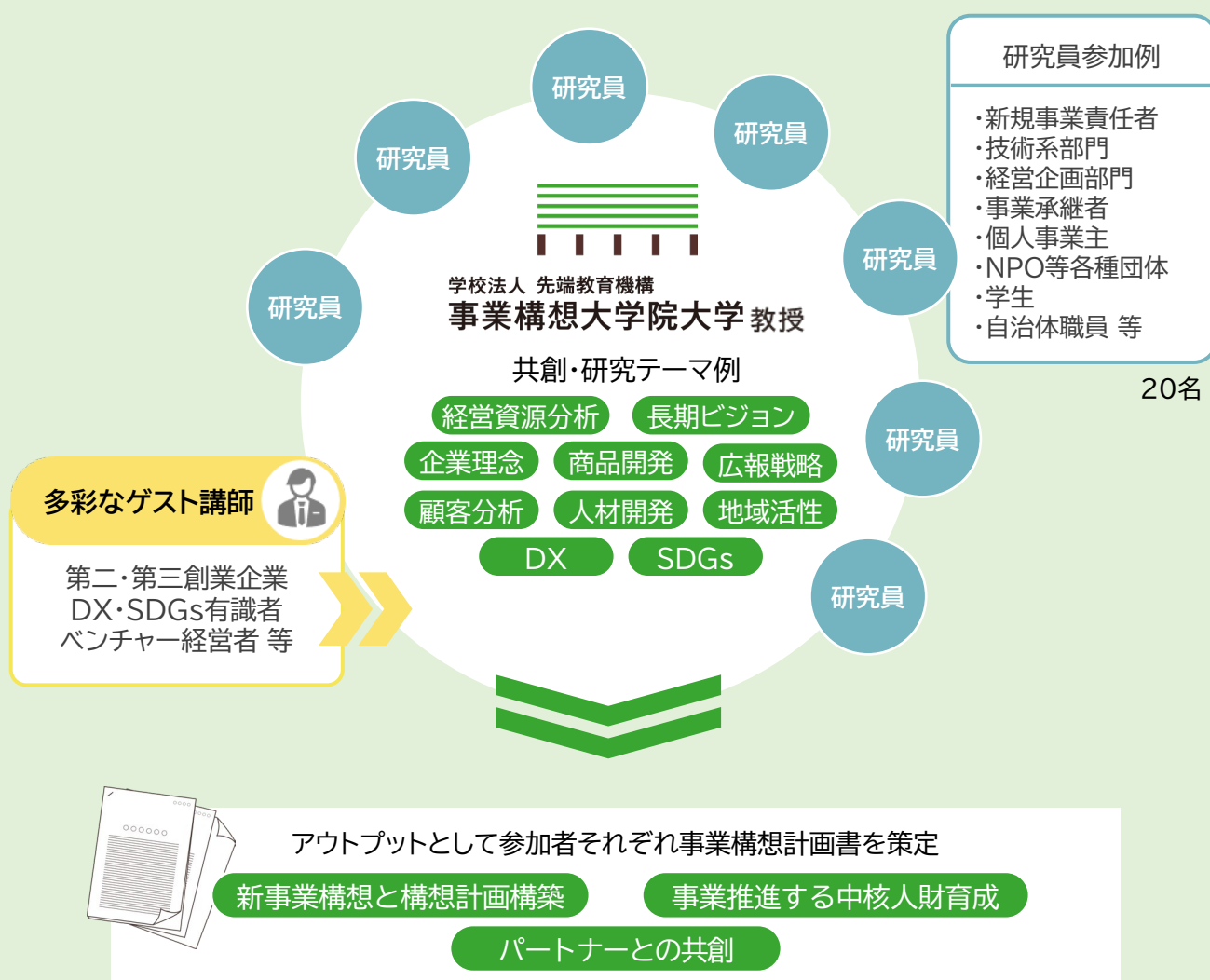
顧客開発など構想計画も、経営資源を活用した実現性が高く独自性の強いものを構築します。

03 最先端分野の有識者、第一人者とのネットワーク

本学がネットワークを有する、SDGsやDXなどの最先端分野における第一人者(官公庁・有識者・実践者・学者・起業家)からゲスト講師を招聘し、イノベーション支援を行います。

04 異業種との共創

研究会は異業種の研究員で構成されます。自社の業界領域を超えた、新たな価値創造を加速します。



「プロジェクト研究」の特徴

最先端分野のゲスト講師・幅広いネットワーク

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、SDGsやDXなどの分野における最新事例・第一人者(官公庁・有識者・実践者)とのネットワークを構築しています。本プロジェクト研究において、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



ヘルスケア:二之宮 義泰



イノベーション:小野 淳哉



プレゼンテーション:八代 華代子



デジタル・テクノロジー:渡邊 信彦



マーケティング:中島 好美



ファイナンス:結城 秀彦



マーケティング:原尻 淳一

サポート体制



「研究員」としてフィールド・リサーチができる

社会課題をイノベーションを通じて解決する「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行うほか、図書館、オンラインDBの利活用、アーカイブ視聴、メディア等、事業構想に必要な学内環境を利用することができます。



多彩な人的ネットワークの構築支援

専門家や自治体・官僚などをゲスト講師として招聘し、イノベーションに必要なインプットを行います。また、本学の院生を対象に行っている事業構想スピーチ(P12参照)にもご招待。さらに、本学の教授陣との個別相談や、研究員同士の情報交換で、専門的な視点を取り入れながら、各社/各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。



メディア・プロモーション支援

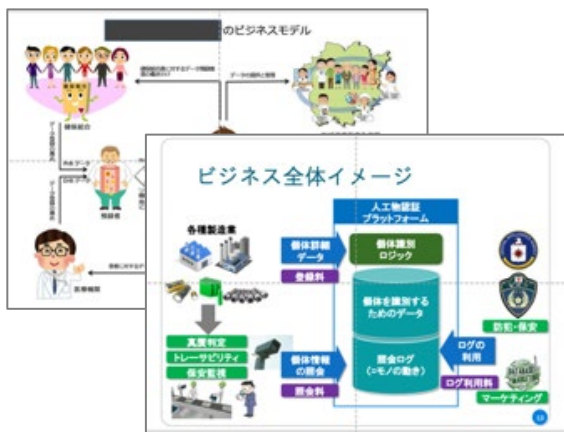
優れた成果は月刊事業構想/事業構想オンラインをはじめとするメディアへ掲載し、プロモーションを支援します。

最終的なアウトプット「事業構想計画書」

定例研究会を中心に個別指導も受けながら、各研究員が1人1つずつ、「事業構想計画」を策定します。

事業構想計画書の構成例

- **基本構想**
概要、社会的背景、自社の新たな知財、基本的な事業構造
- **プロダクト開発構想**
コンセプト／市場性／価格戦略／製造・仕入れ構想／ブランド戦略
差異化／フィールドリサーチ(顧客インサイト分析)
- **営業、販売構想計画**
販売構想(チャネル・販促)／普及・維持構想／フィールドリサーチ
- **事業組織構想**
組織・人事構想
- **資金構想計画**
概算資金計画
- **マーケティング・コミュニケーション戦略**
プロモーション戦略／広告・広報戦略／コミュニケーション戦略
- **想定される障害と対策**
- **スケジュール**



募集要項

プロジェクト期間

全20回、実施期間:2025年6月27日(金)～2026年2月20日(金)

※詳細はカリキュラム記載

定員

20名程度

※募集にあたり、選考がございます。

※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。

※修了後、共創コミュニティ「奈良市共創チーム」(P7参照)への加入をお願いいたします。

会場

大和ハウスグループ みらい価値共創センター「コトクリエ」

住所 〒630-8453 奈良県奈良市西九条町4丁目1-1

対象

- ・ 多様な主体との共創を実践しながら奈良市の地域課題を解決する新規の事業構想を作成する経験を通じて、新事業を担う人材の育成を考えている企業の方
 - ・ 自社の経営資源や自身の技術を活用して、奈良市の経済活性化の推進に資する新事業の創出を目指す企業等の方
 - ・ 共創を通じて新分野展開や、新たな収益の仕組みづくりを検討している企業等の方
 - ・ 地域に貢献したいと考えている学生等
- ※企業規模や業種は問いません。個人事業主の参加も可能です。

申込期限・提出書類

申込期限:2025年5月11日(日)申込書類必着

申込提出書類:①研究申込書 ②個人調書

選考日程

一次審査:書類 5月16日(金)結果案内

二次審査:面接 5月22日(木)または23日(金) / 5月30日(金)までに結果案内

※二次面接日程は一次審査の結果通知と共にご案内いたします。

※二次選考の会場は奈良市役所内を予定しております。オンラインでの参加は受け付けておりません。

※両日ともに10:00～17:00の中での開催を予定しております。面接日程・時間をご指定ができませんのでご注意ください。

申込書類送付先

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

「奈良市みらい価値共創プロジェクト研究<第3期>」担当宛 pjlab@mpd.ac.jp

研究参加費

無料(交通費等の実費は自己負担)※各回、ご自身のPCを持参ください。

※研究参加費は、奈良市の公費負担となっております。そのため、研究員としての資格を得た場合は、その自覚を持って当該プロジェクトに参加し、必ず次の修了要件を満たしていただくこととします。

修了要件

・事業構想計画書の提出(審査有り)

・8割以上の研究会(講義)出席

※病気・けが、天災等のやむを得ない理由で現地での参加が難しい場合のみオンラインでの参加を出席とみなします。(カリキュラム指定のオンライン講義は除く。)

主催・協力

主催:奈良市、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

協力:大和ハウスグループ みらい価値共創センター「コトクリエ」

奈良市共創チーム(共創コミュニティ)について

①つながりの創出

- ・「奈良をより良くしたい」という思いのある、多様なバックグラウンドを持つ人と新たにつながる事が出来る

②ビジネスプランの構想とブラッシュアップの機会(異業種との共創)

- ・行政を含めた参加者との会話や相談を通じて、奈良市の社会課題解決を加速する新たな事業の着想を得たり、ビジネスプランのブラッシュアップを図る機会を得る

③プロジェクトへの協力が得られる

- ・参加者がプロジェクトを組成した際は、奈良市から協力を得ることができる

④モチベーションの維持・向上

- ・参加者間の交流を深め、共に活動する仲間を得ることを通じて、活動へのモチベーションを維持・向上ができる

今後、さまざまな事象が複雑に変化する時代に適応し、持続可能な発展をしていくために、多様な主体との共創により地域課題を解決していく必要があります。

未来ある奈良のまちへとつなげる共創を促すために、本プロジェクトの研究員や修了生をはじめとした熱いパースを持つ者同士がつながれる場を作り、その中で探求活動や課題研究を行うことで事業の価値や意義が創発され、ひいては、本市の地域課題解決につながることを目的としたコミュニティ「奈良市共創チーム」を組成。

アセット・課題・フィールド・アイデアを持ち寄り、世の中に新たな価値を提供し、社会を前進させる場所として、様々な取り組みを進めております。
(詳細は、右記QRコード【奈良市ホームページ】よりご参照ください。)



大和ハウスグループ みらい価値共創センター「コトクリエ」(会場)

みらい価値共創センターの愛称である「コトクリエ」※は、『コト』と『コ・クリエーション』が組合された造語です。『コト』には、かつての都を表す『古都』、また多種多様な人々をあらわす『個と』、そして未来を担う人財をあらわす『子と』といった様々な意味を持たせています。

敷地南東に設置した愛称銘板は、見る向きによって愛称やロゴが現れる仕掛け。「ものごとを片方だけからみるな」という創業者 石橋信夫の教えを表しています。

※企業グループ内公募により寄せられた作品の中で最優秀賞に輝き、愛称として採用されたものです。

地域に愛される
施設を目指して





— 主 担 当 教 員

梶野 孝人 (かしの たかひと)

事業構想大学院大学 事業構想研究所 客員教授

大学卒業後、(株)リクルートに入社。人材開発部、キャンパスマガジン編集長を経て、福岡ドーム(現 PayPay ドーム)に出向し、マイケルジャクソンなどのコンサートやプロ野球アジア太平洋カップ、シルクドソレイユ福岡公演などをプロデュース。

2000年に(株)アイ・エム・ジェイの代表取締役社長に就任し株式上場。国内最大手の web インテグレーション企業グループ 25 社を経営。映画製作も手がけ、「NANA」「るろうに剣心」などのヒット映画も製作。その後、広島県庁の広報総括監として「おいしい！広島県！」、京都府庁参与として「もうひとつの京都」企画で、ショートショート・フィルムフェスティバル&アジアで観光映像大賞(観光庁長官賞)を2度受賞。2015年に兵庫県議会議員に当選したが1期4年で引退。

現在は、かもめ地域創生研究所理事、株式会社CAP 代表取締役、県立広島大学客員教授として地方自治体の審議委員やアドバイザー、コンサルティングを手掛けている。マニフェスト大賞優秀賞も3度受賞。2022年に企画した広島県福山市とバットマンの舞台ゴッサムシティの友好都市提携も大きな話題となった。

主な著書

「地域再生7つの視点」「おいしい！広島県の作り方」「人口減少時代の都市ビジョン」「リクルートOBのすごいまちづくり」「仕事を楽しく整える力」「公務員のための情報発信戦略」など。



— 監 修 担 当 教 員

河村 昌美 (かわむら まさみ)

事業構想大学院大学 事業構想研究所 教授

大学卒業後に横浜市役所入庁。福祉、広報、教育部門を経て、2004年にアントレプレナーシップ事業(庁内起業家制度、当時)により、日本初の「広告・ネーミングライツ事業(民間による行政資産の有効活用推進事業)」に関する新規事業部門を設立及び推進。現在全国の地方自治体で広く取組まれている同事業のスタンダードとなるビジネスモデルを構築。その後、2008年に新設された共創推進事業本部(現:政策局共創推進室)の設立メンバーとして、設立当初から2021年3月まで所属。社会・地域課題解決に資する公民共創(産官学連携)を専門として、数百年の様々な分野にわたる企業と行政のマッチング、コーディネート、コンサルティング、連携案件形成に携わる。

2019年からは、事業構想大学院大学事業構想研究所客員教授として、全国の自治体や企業を対象に公民共創や地域活性化・地方創生、SDGsなどに関する新規事業構想プロジェクト研究を担当。2021年4月から現職。

その他、全国での国・地方自治体や大学、学会、セミナーなどにおいて公民共創に関するアドバイザー、講師を多数担当。法務博士(専門職)。

スケジュール・カリキュラム

回	月/日	時間	目標	講義内容	開催方法
1	6/27(金)	10:00～13:00	【第1クール】	▷オリエンテーション ▷奈良市の課題(奈良市役所から講演&ディスカッション) ▷自己紹介 ▷事業構想概論・具体的フロー	コトクリエ
2		14:00～18:00		▷各研究員の問題意識の共有(三本の矢を考える)地域・自社資源&強み・弱み ▷フィールドリサーチの知識と方法	コトクリエ
3	7/11(金)	13:00～17:00	事業構想の基礎 発・着・想 事業アイデア創出	▷フィールドリサーチ①(場所:調整中)	奈良市内
合宿				各研究員がコトクリエに宿泊し、交流・ディスカッション等実施	
4	7/12(土)	9:00～13:00		▷フィールドワーク結果振り返り・共有 ▷WILLの発表とディスカッション	コトクリエ
5	7/25(金)	13:00～17:00		▷12セルの作成と発表・ディスカッション ▷バリュープロポジションキャンパス(VPC)	コトクリエ
6	8/8(金)	13:00～17:00		▷バリュープロポジションキャンパス(VPC)のビジネスアイデア出し	中部公民館
7	8/22(金)	13:00～17:00	【第2クール】 事業構想案 策定・中間発表	▷ビジネスモデルキャンパス(BMC)	コトクリエ
8	9/5(金)	13:00～17:00		▷マーケティングを学ぶ	オンライン
9	9/26(金)	13:00～17:00		▷販売チャネルとCRM ▷1期生・2期生のスピーチ	コトクリエ
10	10/17(金)	13:00～17:00		▷事業構想案の中間発表に向けたチーム別相談 ▷各自の中間発表内容案を確認	コトクリエ
11	10/31(金)	9:00～13:00		▷各研究員の事業構想案の中間発表・ディスカッション・講評	コトクリエ
12		14:00～18:00			コトクリエ
13	11/7(金)	13:00～17:00	【第3クール】	▷フィールドリサーチ②	コトクリエ
合宿				各研究員がコトクリエに宿泊し、交流・ディスカッション等実施	
14	11/8(土)	9:00～13:00	構想計画に必要な 知識と実践法	▷公民共創の事例と知識	コトクリエ
15	12/5(金)	13:00～17:00		▷収益の流れ、マネタイズ、ファイナンスを学ぶ	コトクリエ
16	12/19(金)	13:00～17:00	【第4クール】 事業構想計画 策定・発表	▷事業構想 講演	コトクリエ
17	1/23(金)	13:00～17:00		▷事業構想計画について教員個別相談	オンライン
18	1/30(金)	13:00～18:00		▷事業構想計画について教員個別相談	オンライン
19	2/20(金)	10:00～18:00		▷最終発表	コトクリエ
20					

【補足事項】

① 講義時間は上記の通り。

② 事業構想大学院の教員が2名で主担当教員及び監修担当教員として全体の指導・ファシリテート、研究員は定員20名。

各研究員の構想の内容・進捗に応じ、ゲスト講師を招聘する場合がある。

③ 担当教員が、研究員の状況・希望に応じ、適宜個別指導に対応(各研究員が教員と個別にスケジュール調整をすること)。

④ 本カリキュラムの他、研究員は、事業構想大学院の授業の一つ「事業構想スピーチ(年間40回)※」を、本プロジェクト期間内に聴講可能。

※ カリキュラムに適したキーパーソンをゲストスピーカーとして招聘し、先端ビジネスモデル・社会的事業モデル等の実践事例やノウハウ等を学ぶことでヒントを得、自己の事業構想に役立てる講義。

⑤ 講義以外の時間は各自「仕事・観光等・フィールドリサーチ・議論」などを実施。

⑥ 各回で、構想の進捗に応じた「課題(ホームワーク)」を課すことがある。

⑦ 本カリキュラムは現状案であり、各研究員の構想テーマや進捗等に応じ、担当教員の判断で講義内容や順序等の変更を行う場合がある。

⑧ 上記カリキュラムに加え、奈良市共創チームに(共創コミュニティ)に関するワークショップ等を2回開催する予定があり、可能な限り参加をすること。

プロジェクト研究の様子

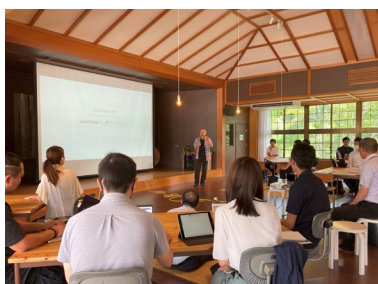
■講義



■最終発表



■フィールドリサーチ



■修了式



第1期・第2期 修了生のコメント

このプロジェクトで皆様と繋がれたことが、何より私の財産になっています。自分の事業構想に自信がなかったところからスタートし、数名の方に応援して下さるまでに事業構想が出来たことで、今の私の自信に繋がっています。(2期生 建設会社勤務 20代女性)

事業構想をコンパクトに学べることに加え、プロジェクトという実践的な場で、同じ志を持つ仲間と共に学ぶことができました。(2期生 インフラ系株式会社勤務 50代男性)

新しい視点から仕事を見る力や、社会課題を自分ごとに捉える力が身につきました。(2期生 市役所勤務 20代女性)

事業を組み立てる根本的な発想やプロセスを学べたことは非常に有益で、本プロジェクト研究で出せる成果に限らず、今後の業務にも必ず活かせることができる「再現性の高いスキーム」として、自社内で必要な学びだと考えています。(1期生 住宅メーカー勤務 40代男性)

私の人生にとってとても有益な8か月でした。また、単なるセミナー受講でなく、教えてもらったことを職場の事業化に際してアウトプットしながら進めてきたため、身になる内容が多かったです。(2期生 市役所勤務 30代男性)

法人紹介



学校法人
先端教育機構
Advanced Academic Agency

先端教育機構が目指すもの
事業と社会を構想する人材の育成



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

構想を研究し、事業のアイデアを形にする

理想の姿を描き、実現可能な計画に落とし込む事業構想について日本で唯一体系化したカリキュラムを保有する社会人向け大学院です。2012年の開学以来、600名近い事業構想人材(事業構想修士)を輩出してきました。顧客開発や経営・構想計画について学び、経営資源を活用した実現性と独自性の高い事業計画を構築します。



事業構想の考え方

コミュニケーション

- ・プレゼンテーション
- ・ステークホルダー
- ・社内外、パートナー
- ・わかりやすい説明方法
- ・マーケティング・コミュニケーション

構想計画

- ・経営資源の確認
- ・マーケティング戦略
- ・顧客探し
- ・実施調査、確証

事業構想

社会での必要性
社会の中で「種」を見つける

発・着・想

- ・アイデア
- ・閃き
- ・気づき

構想案

- ・知恵の出し合い
- ・ケースを聞く
- ・情報を集める

フィールド・リサーチ

- ・手ごたえを感じる
- ・意見を聞く

© HIDEYA AZUMA

事業構想スピーチ（任意参加）

毎週、水曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施



年間40回 各回2時間

各界を代表するキーパーソンから最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、自身の構想に役立てる。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

地域活性・実践者

先端企業経営者

先端分野研究者

社会起業家

ブランドマネージャー

クリエイター

都市計画専門家

建築家

ITビジネスリーダー

過去の登壇例

※順不同、肩書は取材・登壇当時のもの、写真は一例です。



これまで累計200名以上が登壇。多彩なゲスト教員からヒントを得る。

事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

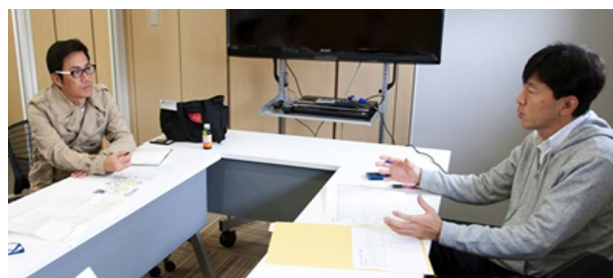
下記の通り、事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます。



研究員証



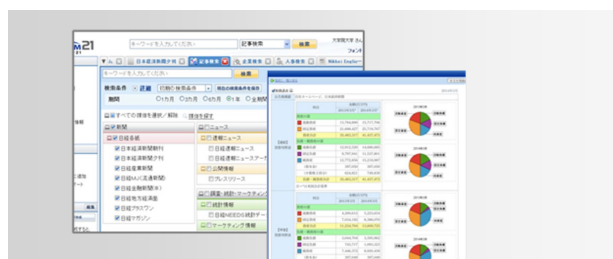
名刺



個別相談



共同研究会への参加 年6回



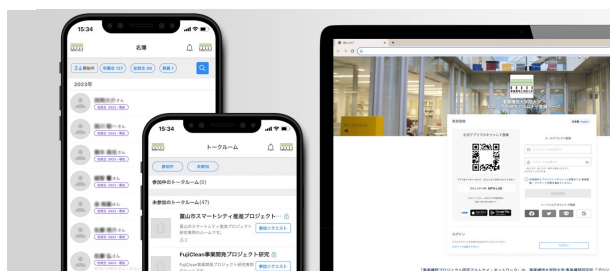
データベースの活用



学内環境・サロンの活用



研究修了証



アルムナネットワーク

- 一部コンテンツのアーカイブ視聴
- 希望により学会発表や、メディア掲載の申請が可能。
- 共同研究会とは:研究会の枠を超えて他社・他研究会と意見交換を行い共創。担当教員以外の教員や他県の研究員から構想へのフィードバックを得る。

個人情報の取り扱いについて

本学が申込書類を通じて取得する個人情報は、

①研究員選考、②合格者発表

③参加手続き、④本学からのお知らせ、

⑤これらに付随する業務

を行う目的のみに事務局および担当教員が利用いたします。

お問い合わせ

申込やカリキュラムに関すること

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

担当: 桑田、大羽

〒107-8550 東京都港区南青山3-13-18

TEL: 03-6278-9031 FAX: 03-3478-8410

E-mail: pjlab@mpd.ac.jp

プロジェクト研究事業に関すること

奈良市総合政策部総合政策課

〒630-8580 奈良県奈良市二条大路南1-1-1

TEL: 0742-34-4786 FAX: 0742-34-4953

E-mail: sougouseisaku@city.nara.lg.jp



奈良市
Old History,
New Discovery.



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所